

恭賀新年

鶴居村中雪裡から望む日の出

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
- 代表理事組合長 武藤 清隆 ————— 1
- 北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章 — 2
- 代表理事専務 對木 範誉 ————— 3
- 釧路丹頂農業協同組合酪農振興会 会長 折笠 文則
- 釧路丹頂農業協同組合青年部 部長 對木 賢雅
- 釧路丹頂農業協同組合女性部 部長 成田 洋子 — 4
- 組合員組織 ————— 5・6
- JAバンクからのお知らせ ————— 7
- JAジャンプのお知らせ ————— 8
- 年始日程表 ————— 9

[illegible]

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



年頭にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長

武藤 清隆



組合員並びに役職員の皆様、新年明けましておめでとうございませう。希望に満ちた平成30年の新春を、御家族お揃いで迎えられました事を心よりお慶び申し上げます。

昨年は、年明けから一昨年の事もあり、天候の状況が非常に気掛かりでありました。9月までは、そこそこ天候に恵まれ、一・二番草とも質・量はまずまずの出来でほっとしていた矢先、台風18号の襲来により、収穫目前のデントコーンが倒伏した他、生産施設等も多大な被害を被りました。被害に遭われた組合員の皆様におかれましては、その復旧、収穫等で相応な御苦労をされたものと、改めて御見舞い申し上げます。

生乳生産につきましては、乳価も大幅な上昇があり生産意欲が喚起され、相当上向く事が期待されましたが、前年の粗飼料の質の悪化により牛の状態が上がらず、個体乳量の減少、更に残念ながら今年も数戸の方の離脱により低迷し

てしまいました。しかし昨年の暮れから生産も回復基調にあり、昨年収穫された粗飼料の質からして今後の伸びが期待されるところです。

平成30年度の畜産物価格が決定しました。数度にわたる中央要請等の中で、現状の酪農現場での経済情勢とは裏腹に、TPP、EUとのEPA等相次ぐ国際貿易協定での大幅な譲歩、更に指定団体制度改革をはじめとする農協改革の今後の展開により、将来に大きな不安を抱えている組合員の心情を理解頂き、それらを払拭される様な決定を希望する旨の要請をさせて頂きました。

結果、加工原料乳補給金等で10銭増の他、関連対策では、農家の働き方改革の取り組みに新たに50億円、ヘルパー確保対策、EUとのEPA政策としてチーズ対策に150億円が確保されました。又乳業各社との基準取引価格においてもチーズ向けが4〜5円値上げという回答がありました。決して

満点とは言えないまでも、ある程度現場の実態に合わせた決定内容として評価出来るのではないかと思います。これらは、国及び乳業からの生乳増産に向けた強いメッセージと受け止めなければなりません。どうか組合員の皆さん、今こそ生乳生産によって成り立つ経営基盤を確立する時ではないでしょうか。今回打ち出された国の各種対策と農協で取り組んでいる増産対策を有効に活用しながら、間もなく始まる営農計画には前向きな計画書が練られます様に期待をします。

昨年の10月22日投票されました衆議院選挙では、自公による政権与党の圧勝に終わりました。我々が選んだ結果ですのでそれらについてどうこうという事ではありませんが、こと農業政策については、どうしても疑問符を付けなければなりません。政府は今、農家の所得を増やす事を大義として農協改革を強力に推し進めようとしています。最たるものが指定団体制度の改革であります。今回の改革のどこが組合員の所得増につながるのか、むしろ組合員を混乱させ不公平感を増幅させる以外の何ものでもないと言いつける事が出来ます。さらには、信用事業の譲渡

問題です。平成31年5月までに農協の対応を決めるように迫られています。

これまで農協は、組合員の生産・生活を支え、地域のインフラを守るといふ大きな使命を担ってききました。今、矢継ぎ早に繰り出される農協改革により、その力が削がれようとしています。この改革を推進した先にはどんな展望があるのか全く理解出来ません。国土の保全、水の涵養、食料安保の確保等々今後誰がどの様に担っていくのか疑問は尽きません。しかし、我々も言われたままではいけません。主張・自己改革すべきは行い、国民・納税者から理解が得られるJAにならなければなりません。

当JAも合併後12年目を迎え、事業の継続のみならず合理化にも取り組み、効率の良い組織への転換も図らなければ、今後想定される荒波に対応する事は難しいと言わざるを得ません。組合員の皆様の尚一層の御理解、御協力を宜しくお願い致します。今年も役職員一同全力で職務にあたり、組合員及び地域の為に頑張る事を誓います。

結びに、今年一年が皆様にとりまして平安で、更なる飛躍の年になります様、御祈念申し上げます。年頭の御挨拶とさせて頂きます。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

は、作況指数が103の「やや良」、小麦・てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んでいます。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国の貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていない

こともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念される所です。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図る

とともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポーターづくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戊戌（つちのえいぬ）です。

一説には、戊は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穡の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。



新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對本 範 峯



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成30年の輝かしい新年をご健勝でお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より組合員の皆様及び関係機関の皆様におかれましては、特段のご指導、ご協力を頂いております事から感謝とお礼を申し上げます。

昨今、目まぐるしく変化する国際情勢の中、昨年1月にアメリカが離脱してから漂流状態に陥っていたTPP協定(環太平洋パートナーシップ)を巡りアメリカを除く参加十一ヶ国が11月、TPP協定の内容にほぼ準拠した新協定「CPTPP(包括的及び先進的な環パートナーシップ協定)」大筋合意、更には「日欧経済連携協定(EPA)」の最終合意が今後どのような形で影響してくるのか非常に懸念をする所であります。

このような中我々は、政府に対して規制改革等とはもとより生産基盤強化、成長産業とするための政策の充実が必要と強く訴えていかなくてはと考えます。

平成30年度の取引乳価については、チーズ向けのうち、カマンベール・クリーム等のソフト向けをキロ5円、ゴーダ・チェダー等のハード向けは、キロ4円引き上げられ具体的な上げ幅は、29年度プール乳価が確定する年度末以降に発表される様です。

又、改正畜安法の下で初めて設定される平成30年度の加工原料乳生産者補給金をキロ当たり8円23銭、集送乳調整金を2円43銭、両単価を合わせると10円66銭で現行単価を10銭上回る形で、交付対象数量は10万トン減の340万トンで決定されました。

さて、JAにおいては、生産基

盤強化に向け総会において新たに「新規就農・担い手対策サポート事業」「農業施設拡大支援事業」を承認して頂き、「北海道生乳生産基盤・安定供給強化対策」の増産基調のもと取り進めて参りましたが、一昨年の粗飼料の質の悪さ、量が確保されず、更には組合員の営農中止等を受け、生乳生産状況はいくらか回復の兆しが見えてきたものの、なかなか増産に至らない状況にあります。

昨年は一・二番草とも順調に推移し、9月の台風18号上陸によるデントコーン倒伏被害があったものの、概ね確保された事と思えます。本年は規模拡大も数戸あり、組合員の皆様の努力により増産を期待する所であります。

一方組合員経済状況は、乳代単価の値上がり、と、個体販売価格が一年を通して高値で推移した事により、一昨年の粗飼料の不足・不良によるエサの購入増、租税諸負担増等があるものの、概ね良好な結果となりました。

新年度においては、酪農畜産の生産環境の様々な変化や厳しさが予

測される中、生産基盤強化に向けて計画的な再構築が図れる様畜産クラスター事業の継続的な取り組み、各種補助事業、JA助成事業等を含め地域の行政関係機関と連携し酪農畜産農家の収益性の向上を目指して参りたいと考えております。

JA北海道大会で決議された『北海道550万人と創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』推進を通して更に次年度は、第二次「地域振興計画」、「中期経営計画」の最終年であり、しっかりと総括をし31年度からの三次計画の樹立に向け、組合員の皆様のご理解とご協力を得ながら策定していかなくては考えます。

今後共、JAが組合員の皆様の期待に応え農業経営の安定と向上を目指し、役職員一丸となり組合員の皆様と決意を新たにしていまいる所存でありますので引き続きご指導とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝でご多幸の一年となります様、心からご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合酪農振興会

会長 折笠 文則

新年明けましておめでとうございます。

酪農振興会々員の皆様にはご家族揃って輝かしい平成30年を迎えられた事と思います。また旧年中は当振興会の事業に対しまして会員の皆様をはじめ諸関係機関のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で昨年10月に白糠地区で開催されたパークゴルフ大会と懇親会では、会員相互の情報交換ができ、楽しい時間を過ごすことが出来ましたし、11月開催の視察研修では「ビール工場」と「大規模搾乳ロボット農場」を見学し、業種を問わず現場では、ロボットによる省力化が進んでおり、人口減少に伴う労働力不足対策を進めていく事が急務だと感じる事が出来ました。

さて当農協の昨年の生産乳量ですが、一昨年の粗飼料の収量不足や品質低下の影響で、クミカン年度では10万トン達成する事が出来ませんでした。昨年は良質な粗飼料をおおむね確保出来た事から、今年は生乳生産の回復・増産が出来るよう、私達酪農家は日々努力していかなければなりません。

酪農振興会では生乳生産や経営安定の一助になるよう2月に「酪農祭」を開催し、酪農技術に関する講演と懇親会を予定しております。また懇親会の中で平成29年の良質乳出荷農場の表彰式も予定しておりますので、会員皆様の参加をお待ちしております。

本年も酪農振興会の事業を通して会員相互の良い関係が更に広がり、強い結び付きになるよう事業を進めて参りますのでどうぞよろしく願います。

今年一年皆様方のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年にあたり



釧路丹頂農業協同組合青年部

部長 對木 賢雅

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族揃いで輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。又、旧年中におかれましては、組合員の皆様、関係機関の皆様には特段のご支援、ご協力を賜りましたことを深くお礼申し上げます。

昨年、釧路地区青年部協議会は設立50周年という大きな節目を迎え、関係各所の皆様のご協力のもと記念式典が執り行われ、地区会長を歴任された方々の表彰が行われました。表彰された歴代会長の中には、丹頂農協組合員の方も多数おられ、その功績に身の引き締まる思いと同時に、釧路地区における丹頂農協の役割の大きさを感じました。

例年行っている乳製品消費拡大運動では、コープさっぽろ星ヶ浦店での実施やどんぱく及び地元のお祭り等で、消費者の方と直接お話をさせて頂きました。我々生産者の思いを伝える事のできる数少ない機会なので、今後も継続していきたいと思ひます。

依然として農業情勢は先行きが不透明で、厳しい中ではありますが、我々青年部は、国民の命を支える食に携わる者として、その重要性や、地域社会を担っていくという強い信念を持ち、活気あふれる青年部活動を行っていきたいと思ひます。

結びになりますが、本年も組合員とご家族そして関係機関の皆様方からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



釧路丹頂農業協同組合女性部

部長 成田 洋子

新年明けましておめでとうございます。皆様と共に新しい年を迎えられましたことを嬉しく思います。旧年中は、女性部活動に対しまして特段のご支援、ご協力を賜り篤く御礼申し上げます。

昨年6月に開催いたしました女性部交流会では、私が釧路管内を代表して参加した海外研修視察の報告と、按腹（あんぷく）セラピストの酒田さんを講師に招き、あんぷく体操を実践していただきました。

又、例年行っている牛乳乳製品消費拡大運動は、昨年に引き続きコープさっぽろ釧路星ヶ浦店で実施させていただき、消費者の皆様と生産者が触れ合い、私たちが生産した牛乳・乳製品をより身近に感じていただきました。

本年におきましても、部員皆様の協力を賜り、食と農の繋がりを伝える、大切な役目を果たす事を目標に、JA運営にも参画、邁進して参ります。

最後になりますが、本年も関係機関の皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



ＪＡくしろ丹頂組合員組織



あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 成田 洋子

釧路丹頂農協青年部

部長 對木 賢雅

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 折笠 文則

釧路丹頂和牛改良組合

組合長 菊地 和広

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 伊藤 順一

幌呂大型機械利用組合

組合長 大碓 晋二

鶴居宮農組織代表者協議会

会長 合田 徳三

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治



JAくしろ丹頂組合員組織



本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高橋 文雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 影山 純

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 野上 敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 菅原 善伯

白糠町野菜生産組合

組合長 細谷 照雄

白糠町農民組合

執行委員長 鳴海 聖浩

白糠町農村青少年クラブ

会長 五十嵐 大地



JAバンクをご利用のお客さまへ

ATMなどのサービスを 一時休止させていただきます。

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたびJAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年
(2018)

1月 6日(土)・7日(日)・8日(月祝)

休止させていただくサービス



JAバンクのATM

JAバンクのATMを利用した、入金や出金、残高照会、振込・振替など、すべてのサービス



JAネットバンクサービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用した、残高照会や振込・振替など、すべてのサービス



コンビニ等のATM

JAキャッシュカードによるセブン銀行、ゆうちょ銀行、その他提携金融機関やコンビニ等のATMを利用したすべてのサービス



デビットカードサービス

デビットカード機能がついたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済



現金のお引き出しはお早めに

休止期間中は現金のお引き出しができませんので、あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

※JA・店舗・ATM・提携金融機関によっては、ご利用不可、ご利用可能期間および利用可能サービスが異なるため、上記スケジュール以外にもサービスをご利用いただけない場合がございます。詳しくは、JA窓口・ホームページ等でご確認ください。

JAバンク
ホームページ

<http://www.jabank.org/>

JAバンク北海道



JA²MP

[ジェイエイ・ジャンプ]

を使ってみよう

JAグループ北海道が提供するスマートフォンアプリ「JA²MP」は、北海道の食と農の情報でいっぱい。北海道にたくさんあるJA直売所から、旬な農畜産物の情報をタイムリーに発信する「オススメ農畜産物」、毎月、テーマを決めて記者が取材する「特集一覧」、季節ごとのブランド野菜の魅力や北海道の農業について学べる、いちおしコンテンツの「チェックインスポット」を使って、直売所やAコープなどJA関連施設に訪れるとポイントが貯まり、抽選でおいしい北海道の農畜産物などが当たります。「JA²MP」といっしょにお出かけして、おいしくお得な情報をたくさんゲットしましょう。



まずはダウンロード!



※動作環境: iOS 9.0以降, Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。※本アプリは著作権者JAグループ北海道の登録商標です。●「App Store」「Google Play」はGoogle Inc.の登録商標です。●「iPhone」「App Store」「iTunes」は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります。お書き込みの住所となります。●本アプリのバージョンアップの際は本アプリが正常に動作しないことにより責任を限定する場合があります。

JA2MPって何ができるの?

JAグループ北海道の直売所にチェックイン 旬でお得な農畜産物情報を毎日チェック

北海道にはJA直売所やAコープ、ガソリンスタンドのほか、JAバンクA1Mなど、JAグループ北海道の関連施設がたくさんあります。アプリの中にある「チェックインスポット」を使えば、便利で簡単なポイントラッキーに参加できます。JA関連施設や季節の農業イベントにたくさん訪れて、チェックインするとポイントが貯まります。ポイントを集めると豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。いちおしコンテンツ「チェックインスポット」の使い方を紹介します。

オススメ農畜産物

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜や地域の特産品などの情報をタイムリーに発信します。直売所で、どんな農畜産物が売られているかを簡単に調べることができます。そこでしか手に入りにくい珍しい農畜産物をチェックして直売所へ行く。直売所までの道のりもナビゲートします。

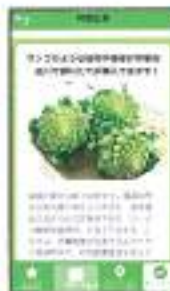


チェックインスポットを探す

全道各地にあるJAグループ北海道の関連施設にチェックインすると、ポイントが貯まります。詳しい使い方は下記で紹介しています。

特集一覧

テーマに沿って、食と農に関する情報を毎月更新。季節の楽しい農業イベントなどを紹介します。珍しい野菜や農畜産物などのように作られているかを学ぼう! 北海道農業の発展が、栽培、収穫からチェックインスポットして、紹介された農畜産物を買っているJA直売所へ行こう!



チェックインスポットを探す! チェックインスポットラッキーでポイントを貯めよう! ポイントで素敵な景品を抽選でプレゼント!



北海道内にたくさんある施設がチェックインスポットに登録されています。チェックインスポットへ訪れて「直売所にきたらチェックインしよう」というスタンプをもらうことで、ポイントが貯まります。まずはここをタップ!

チェックインスポットの探し方は4つあります。スマートフォンの位置情報システムを使って、自分が今いる場所の近くにあるチェックインスポットを探すことができます。



自分が今いる場所をスマートフォンが検出したら、このように地図のチェックインスポットが表示されます。



チェックインスポットへ行って写真を撮ったら、ナビゲーションで目的地まで移動できます。



目的地に着いたら、画面右下に「チェックイン」のボタンを押せば、チェックインできる場所がわかります。そして「チェックインする」をタップ。



はじめてチェックインした施設は0.000ポイント、2回目以降のチェックインは1回1.000ポイントの「チェックインボーナス」がもらえます。

JAくしろ丹頂 年始日程表

年月日	各 地 区 の 事 務 所			販 売		家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糖・音別	鶴居・幌呂 白糖・音別			
平成 1 月 1 日(月)							通 常 業 務		
1 月 2 日(火)						業務始め*			
1 月 3 日(水)									
1 月 4 日(木)		業務始め		初生集荷・業務始め					
1 月 5 日(金)									
1 月 6 日(土)	業務始め		業務始め						

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糖		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成 1 月 1 日(月)											
1 月 2 日(火)							業務始め*				
1 月 3 日(水)		業務始め			業務始め*						
1 月 4 日(木)	業務始め 午後5時まで						午後6時まで		業務始め 午後5時まで	業務始め	
1 月 5 日(金)	午後5時まで						午後6時まで		午後5時まで		
1 月 6 日(土)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

*午前中のみ営業となります。	営業日	休業日	1/6(土)は、全業務午後4時までの営業となります。
			1/6(土)・7(日)・8(月・祝)金融ATMはシステムの更新により休業となります。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル(☎0120-258-931)に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、田村課長(090-7647-4585)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸(57-8388)もしくはホクレン(佐々木職員090-5953-9781)に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所(小松原職員080-5471-3655)か(岡田職員080-6540-4620)に連絡して下さい。

◆白糖地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、大石課長(自宅6-2734 携帯090-1640-0376)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、給油所(2-2084)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後5時までの業務となります。
- ・生産資材に関することは、林課長(090-8905-1705)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、若狭係長(自宅6-3707 携帯090-4870-9101)に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年始の対応について

- ・1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分(厳守)対応となりますので、よろしくお願い致します。

編集後記
EDITOR'S NOTE

□新年明けましておめでとうございます。農業を取り巻く情勢は、日本及び世界経済が急速に変わっていく状況の中で、消費者から求められるものも多岐にわたってきております。私達は、平成27年・第28回JA北海道大会で決議された「協同の力で実現する農業所得の20%増大、新規担い手の倍増、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくり」の実現に向け、今後も引き続き組合員及び地域の皆様方とともに取り組んで参ります。本年が皆様方にとりまして、実り多い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

お詫びと訂正	11.12月合併号最終ページで、誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、改めて訂正させていただきます。 年末年始日程表 金融1月6日(土) (誤) □営業日→(正) □休業日
--------	--